

しちがはま

議会だより

No. 114

平成25年1月15日
宮城県七ヶ浜町議会



なかよく踊ろう

(松ヶ浜幼稚園のおゆうぎ会)

特集 子どもの医療費が無料に	2
開かれた議会を 一議会報告会	8
自主防災会との連携を など	7人が質問 11
おらほの幼稚園紹介シリーズ ー第1回ー	18

0歳から12歳までの子どもは

**通院
入院**

医療費が無料になります



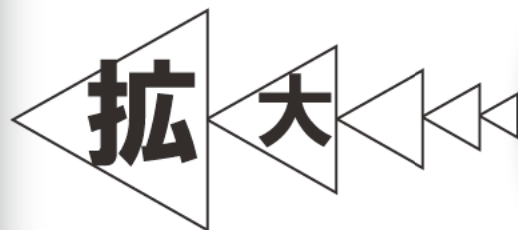
平成25年度から実施 子育て支援を充実

12月定例会を12月5日から7日までの3日間の会期で開催しました。
全国的に機運が高まっている暴力団排除に関する責務等を定めた条例の制定や、平成24年度補正予算など21件の議案を審議し、いずれも原案のとおり可決しました。また、一般質問は7人が活発な議論を展開しました。今回の特集は、乳幼児から子どもへと医療費の助成が拡大する条例改正の内容をお知らせします。
(その他の条例は5ページに掲載しています)



小学生までの医療費を助成

4月1日から



乳幼児の医療費を助成

親の声

無料化はありがたいです。健康で風邪もひきませんが、いざというとき頼りになり安心です。上の子たち2人(中学生)も早く適用になる制度ができるとうれしいですね。子育てする親にとっては朗報だと思います。少子化の歯止めになればと思います。



汐見台 澤田 栄子さん
友海ちゃん(9歳)

現在の近隣市町の状況は

市町名	対象	入院	通院
塩釜市	就学前まで	○	○
多賀城市	就学前まで	○	○
七ヶ浜町	就学前まで	○	○
松島町	中学校卒業まで	○	
	就学前まで		○
利府町	小学校卒業まで	○	○

(平成24年12月現在)

議

会は、宮城県知事へ医療費の助成拡大を求める意見書を提出しました。

中 学校を卒業するまでに拡大できないかと質疑がありましたが、町は多額の一般財源が必要になるため難しいとの回答でした。

子 育て支援をさらに充実するため条例を改正し、平成25年度から対象を12歳に達する年度末までに拡大します。乳幼児医療費助成制度から子ども医療費助成制度と名称が変わります。

財 源は、2歳までの通院と就学前(6歳)までの入院は、県と町が2分の1ずつ負担しています。対象にならない乳幼児の通院、入院は6歳まで町が独自に支援しています。
平成23年度は約2500万円を助成しています。

町 は現在、6歳に達する年度末までの医療費を助成しています。所得制限がありませんが、病院などで保険証を使って診療を受けた時に、窓口で支払う医療費を負担します。

議案審議

防災会議に 女性参画を期待

補正予算

平成24年度一般会計補正予算（第6号・第7号）は歳入歳出それぞれ147億8197万円を追加し、419億8137万円としました。補正の主なものは、従前地（被災地）用地買収費や高台住宅団地造成費、漁港（松ヶ浜・菖蒲田）復旧工事費などで、質疑・討論の結果、反対なく原案のとおり可決しました。

用地買収費が予算化される

国・県から約80億円の第4回配分

質疑

問 高台住宅団地用地買収及び造成費関連事業（10億1475万円）の内容は。

答 用地買収費の中で今回対象となる4地区の内容は。

答 政策課長 西原（松ヶ浜、中田（菖蒲田浜）、台（吉田浜）、立花（代ヶ崎浜）の4地区であり、6万5333㎡を予定している。

質疑

問 笹山線道路整備工事等（1億3870万円）の工事規模は。

答 建設課長 町道に認定された750m区間で、幅員7mと片側歩道を計画している。

質疑

問 七ヶ浜中学校 校舎解体工事へ追加（5938万円）の必要になったとあるが、工事対策と周辺への影響はないのか。

答 アスベスト処理対策が必要になったとあるが、工事対策と周辺への影響はないのか。

質疑

問 教育総務課長 工事箇所ごとにビニール等で覆うので影響はないが、工事開始前には周辺住民に説明を行う。

質疑

問 テニスコート等改修工事（1億2931万円）の交付金の関係で事業規模が縮小されたとの説明だがどのような内容なのか。

答 生涯学習課長 屋根をつけない構造として半年程度の工期の短縮も図った。



早急なテニスコートの改修を

認定

復興推進のため
次の道路が町道に！



陳情

請願 今定例会に請願、陳情が提出され本会議で採決しました。その結果、意見書として議員提案され、全会一致で可決し国と県へ提出しました。

陳情 乳幼児医療費助成制度の拡充を県に求める意見書採択の請願

請願者 乳幼児医療ネットワークみやぎ 会長 刈田 啓史郎

陳情者 宮城県保険医療協会 理事長 北村 龍男

国と県へ意見書を提出

請願者 被災者の介護保険利用者負担の減免を国の負担で継続する財政措置を求める意見書採択の請願

請願者 乳幼児医療ネットワークみやぎ 会長 刈田 啓史郎

条例制定

●暴力団を排除する条例
全国的に暴力団排除の機運が高まっていることから、暴力団排除の徹底と意識の高揚を図るために制定するものです。町は暴力団排除の施策と総合的な推進に努めることとなります。

条例改正

12月定例会では、防災会議条例の改正や暴力団排除条例の制定、町道認定などの議案を審議し、全て原案のとおり可決しました。

●防災会議条例

町の防災会議は、情報の収集のみでなく防災に関する重要事項を審議するものです。また、委員は自主防災組織の構成委員や学識経験者を追加し町長が任命します。このことから女性の参画も期待されます。



●学校給食センター 改築工事

契約先 第一建設工業株式会社
金額 4億9140万円
工期 平成26年2月21日

●松ヶ浜漁港復旧工事

契約先 みらい建設工業株式会社
金額 1億5225万円
工期 平成26年3月29日

お も な 内 容	
一般会計	補正額
■歳入 国県の支出金（負担金・補助金） 地方交付税 復興交付金基金および復興基金から	76億5641万円 10億5797万円 53億1894万円
■歳出 従前地（被災地）用地買収費（笹山・中田地区）関連へ 災害廃棄物処理・がれき撤去等へ 漁港（松ヶ浜・菖蒲田）復旧工事等へ 復興交付金基金へ	49億4808万円 21億6686万円 1億7523万円 53億6085万円

問 地盤沈下での強制排水ポンプ設置（500万円）設置箇所と台数、容量は。

答 建設課長 代ヶ崎浜地区3カ所に3台、要害地区に2台、東宮浜地区に1台。容量は6インチポンプを準備している。

これも議会の仕事です

総務

平成24年10月11日委員会を開催し、自主防災会との懇談会での懇談会で出された意見・要望をまとめ、町へ要望書を提出し回答を求めました。11月5日、町から示された回答を検証し、さらに東日本大震災の教訓を生かした今後の防災対策の考えを委員会を代表して一般質問しました。（内容は11ページに掲載しています）

11月4日、湊浜地区自主防災訓練を視察しました。訓練種目の中で特に印象に残ったのは非常持出し避難訓練です。参加者全員が非常持出し袋（リュックサック）を背負って避難場所へ集合しており、区民の防災意識の高さを認識しました。



皆がリュックを背負って避難（湊浜自主防災訓練）

自主防災会との懇談会を総括し質問しました

また11月11日、汐見台総合防災訓練を視察しました。行政区、連合町内会、婦人防火クラブが一体となり避難してきた人たちが真剣に救急救命や、模擬電話を使った119番への通報訓練などに取り組んでいました。

日頃の訓練が非常時の自助、共助につながることを強く意識し今後も調査活動を進めていきます。

教育民生

長岡市の復興を学ぶ

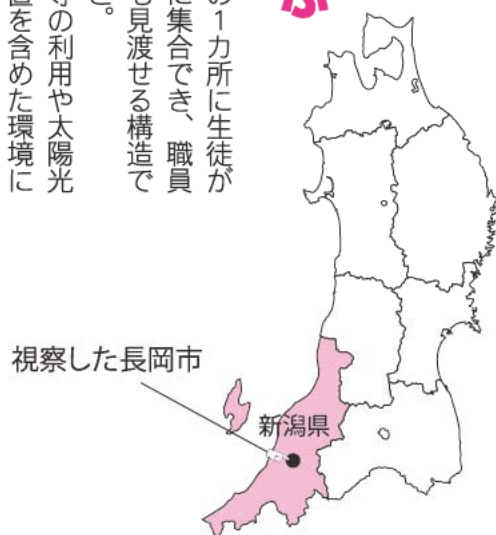
平成16年10月に新潟県中越地震で被災した長岡市を視察研修しました。山古志地区（旧山古志村）は役場庁舎を始め多数の施設が被災しました。特に山古志小・中学校の校舎は全壊。2年後に小中併設校として再建し、その他の施設も復興基金で復旧しました。

視察した宮内中学校は平成24年1月に新築して開校。地域の防災避難所機能を兼ね備えた避難者に充分配慮された校舎に生まれ変わりました。本町では七ヶ浜中学校の新築が計画されており、宮内中学校の特徴を反映できないかとの視点から研修結果をまとめました。その要点は次のとおりです。

- ①校舎の1カ所に生徒が自然的に集合でき、職員室からも見渡せる構造であること。
- ②雨水等の利用や太陽光発電装置を含めた環境に配慮したエコスクールであること。
- ③学校機能と避難所機能を分離できる配置であること。
- ④体育館など人の集まる場所にテレビ、電話等の接続端子を設け、通信・情報伝達が可能であること。



生徒の集合スペース（宮内中学校）



視察した長岡市

平成24年第4回定例会 議案採決結果一覧

○賛成 ×反対 議長（佐藤梶信）は採決に加わらない。

議案番号	議案名	阿部慶也	我妻周悦	千葉志美枝	郷右近剛史	歌川久和	遠藤靖志	角睦夫	大町睦夫	糸久博	遠藤喜二	鈴木勝美	渡邊淳	阿部和夫	鈴木初雄	岡崎正憲	佐藤梶信	議決結果 (賛成：反対)	
議案第60号	暴力団排除条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決 (15:0)
議案第61号	議会の政務調査費交付に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決 (15:0)
議案第62号	災害対策本部条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決 (15:0)
議案第63号	防災会議条例の一部を改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決 (15:0)
議案第64号	乳幼児医療費の助成に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決 (15:0)
議案第65号	工事請負契約「平成24年度松ヶ浜漁港災害復旧工事」	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決 (15:0)
議案第66号	工事請負契約「平成24年度七ヶ浜町学校給食センター改築工事」	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決 (15:0)
議案第67号	塩釜地区消防事務組合規約の変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決 (15:0)
議案第68号	町道路線の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決 (15:0)
議案第69号	平成24年度一般会計補正予算（第6号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決 (15:0)
議案第70号	平成24年度国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決 (15:0)
議案第71号	平成24年度公園墓地事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決 (15:0)
議案第72号	平成24年度介護保険特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決 (15:0)
議案第73号	平成24年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決 (15:0)
議案第74号	平成24年度水道事業会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決 (15:0)
議案第75号	平成24年度一般会計補正予算（第7号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決 (15:0)
議員提出議案第1号	議員は少なくとも1つの常任委員になるとする条例改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決 (15:0)
議員提出議案第2号	本会議で公聴会開催や参考人の招致ができる規則の変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決 (15:0)
議員提出議案第3号	被災者に対する医療費一部負担免除を平成25年4月以降も継続する意見書の提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決 (15:0)
議員提出議案第4号	介護保険利用者負担の減免を継続する意見書の提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決 (15:0)
議員提出議案第5号	乳幼児医療助成制度について県に対する意見書採択を求める意見書の提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決 (15:0)

情報公開の立場から、議案採決結果一覧を掲載することにしました。

開かれた議会とするため、平成24年11月13日から16日まで9会場で3回目の議会報告会を開催しました。
 今回も区長を始め参加された87人の方の声を聞くことができ、今後の議会活動に大変参考になりました。これからも皆さんが参加しやすい報告会とするように議員全員で協議し、取り組んでいきます。（報告会の内容を要約してお知らせします）



皆さんの声を反映します

通学路の安全対策を！ 浸水対策を早急に！

	質問の主なもの	議会の回答
震災復興関連	避難場所の見直しを行ったのか。	自主防災会と検討している。
	町から情報は定期的に入るのか。	定期的ではないが、震災特別委員会などで説明がある。
	レッドゾーンにある土地は、売らなければならないのか。	必ずしもそうではない。
	防潮堤の完成は何年か。	県の事業で平成27年度完成予定である。
	嵩上げ補助金の対象範囲は。	レッドゾーン以外の住居。
	汐見小学校で高濃度のセシウムを検出したが場所と対応は。	体育館近くの側溝。泥土除去後の測定は基準値以下にある。
	要害の雨水対策はどうなったのか。	県と町が協議中であり、大雨の時はポンプ排水で対応する。
	町が買い上げる被災地の管理と利用は。	町の管理地となり防災林や公園などに利用する。
	震災で断水した時、給水車が不足していた。大型車購入を。	当時は他の自治体支援で対応したが、4トン給水車を購入した。
	防災行政無線がよく聞こえない。	難聴対応に小型受信機を準備しているので町に相談を。
その他	製油所の被災で、半径2kmの避難が正しくなかった理由は。	会社からの説明では、計算に間違いがあり200mが正しかった。
	吉田浜の消防ポンプ自動車置場の工事が着手されていないが。	平成25年3月完成予定。
その他	一般質問はどのように決めるのか。質問は3回までか。	議員が個人の意思で議長に通告し、議長が許可する。答弁を含めた60分以内で何回もできる。

町へ言いたい

- 汐見台南から松ヶ浜小学校までの通学路の安全対策を。
- 防災会議に女性委員の登用を。
- 障がい者からの相談は、民生委員が訪問して対応してもらいたい。
- 地盤沈下による浸水対策を早急に。
- 側溝がなく、大雨で冠水する。改善を。
- 冬の期間中、ダンプカーの出入口での散水は凍結し危険なので止めて欲しい。

議会へ意見する

議会報告会

- ▼ 土・日曜日の日中に開催できないか。
- ▼ 年に1回か2回これからも開催して欲しい。
- ▼ メールで要望を受け付けるシステムがあれば不要。

委員会活動

調査した内容が予算化にどのように反映されたのか掲載してもらいたい。

産業建設

復興を形に 6次産業化の 拠点をめざす

漁業、農業の1次産業と商工業の2次産業にサービス業などの3次産業を合わせ付加価値を高め、6次産業化の拠点として、花洲浜地区にハーバースクエア事業が計画されています。
 現在、各関係機関や団体がそれぞれ調査に入っていますが、委員会としては同じような形で成功を収めている千葉県の南房総市と鋸南町を視察調査することにしました。
 本町に見合った計画となるように見極めるためにも必要な調査です。次号で詳細をお伝えします。

震災特別委員会

浸水被害に対する 町からの回答です

道路の嵩上げ計画の周知を
 本特別委員会では、平成24年8月末に要害地区、東宮浜地区、代ヶ崎浜地区の浸水被害の現地視察を行い、問題点をまとめ議長に提出するとともに町に回答を求めました。
 11月に回答が示されましたので要点をお知らせします。

早急な排水対策を

回答 防潮堤を含めた港湾施設の復旧工事は、県と町の間で協議中であり正式な協議は町に提示されていません。復旧工事が完成するまでの間、大雨等のときは仮設の大型ポンプで強制的に排除する。

防潮堤内側道路の幅員確保を

回答 幅員の確保を調整したい。また、土地区画整理事業で地盤の低い土地の嵩上げ、狭あい道路の解消、排水施設の整備等を実施したい。

県への陳情を強めて欲しい

回答 これらの対策は早急な課題であることから県に強く働きかけていきたい。



わたなべ あつし 渡邊 淳 議員

自主防災会との連携を

町長 地域に寄り添い情報を反映

問 個人の井戸を登録認定し、井戸の存在を地域に示して欲しい。非常時に「使い水」として地元で活用できるように、数多くの井戸登録はできないか。

答 町は年度初めにスタンド組合、燃料納入組合と契約を結んでおり、協定を結んでいるのと同じである。町内には、災害協定がないものの町民にガソリンを販売しない業者はいない。現時点では改めて協定を結ぶ考えはない。

問 東日本大震災後は燃料不足を招いたが、町内外のガソリンスタンド等と災害協定を結ぶ考えはないか。

答 町は年度初めにスタンド組合、燃料納入組合と契約を結んでおり、協定を結んでいるのと同じである。町内には、災害協定がないものの町民にガソリンを販売しない業者はいない。現時点では改めて協定を結ぶ考えはない。

問 大災害時に学校や公民館が避難所になった場合は各地区の公民館に16台、小中学校に5台、アクアリーナや生涯学習センター、保育所等に計30台の配備を予定している。

答 町はMCA無線機の配備と使い方をどのように考えているのか。

問 井戸の位置・水質・量をしっかり把握し地域に反映したい。

答 井戸の管理に関し行政側が地域に寄り添う考えはないか。

問 震災後、井戸の状況が把握されていない。改めて情報を収集してホームページ等で情報公開し自主防災会と連携を図り情報を共有する。

答 震災後、井戸の状況が把握されていない。改めて情報を収集してホームページ等で情報公開し自主防災会と連携を図り情報を共有する。

問 普通傷害保険のため自然災害は補償されない。

答 町で行う行事では町が傷害保険をかけている。自主防災会役員に災害時の傷害保険を町で一括契約できないか。

問 防災計画に防災道路の考え方も入るのか。

答 町の防災計画に複合災害の対応も含まれる。

問 避難所となる公民館等に発電機、大型バッテリー、バイオ式防災トイレ設置、リヤカー、車椅子などの設置は考えられないか。

答 全国的な事なので機会があれば話題提供したい。

問 資機材は金額の上限を決め必要なものを配備する。

答 バイオ式単独処理ができるトイレは常設できないか。

問 防災計画の中で検討したい。



ズバリ

町政を問う

一般質問一覧表

12月定例会の一般質問は、5日から6日までの2日間行い、7人が活発な議論を展開しました。質問と答弁を要約した内容を11ページから17ページでお知らせします。なお、タイトルは通告のとおりです。

渡邊 淳11ページ

・東日本大震災の教訓を活かした、当町における防災対策について

鈴木 勝美12ページ

・震災後のまちづくりについて

郷右近剛史13ページ

・町税の減収に対する町の対策について
・新教育長の基本方針について

遠藤 喜二14ページ

・がれき金属換金、着服について

歌川 渡15ページ

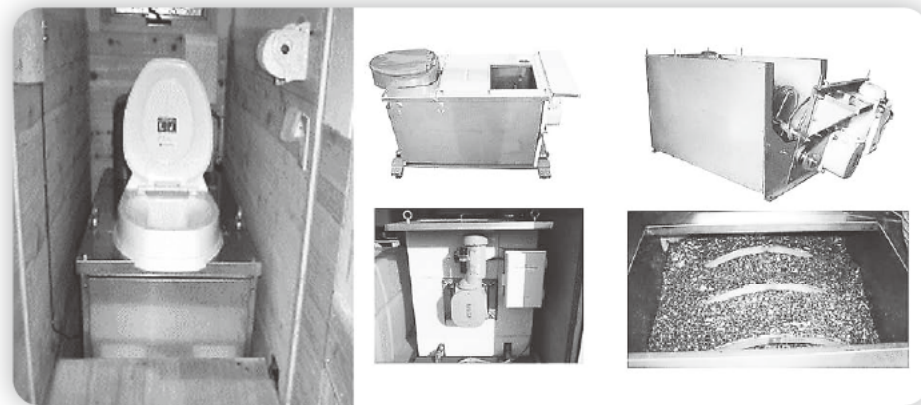
・子育て世代の経済的負担軽減支援策について
・防災集団移転は住民参加・主導による新たなまちづくりを
・子どもたちが安心、安全に暮らせる環境づくりを

千葉志美枝16ページ

・仙台・宮城DCと今後の観光振興策について

角 靖志17ページ

・花洲浜ハーバースクエアまちづくり事業について



水のいらないトイレ



郷右近 剛史 議員

町税の減収に対する対策は

町長 震災の復興が増収につながる

問 企業広告事業として町内施設のネーミングライツを検討する考えはあるか。

答 サッカースタジアムは企業が被災し、時は企業が増収する。

問 町長 震災の復興復興事業を優先して早期実現に向けて取り組んでいる。復興を進めることが増収対策につながる。

問 東日本大震災の影響で町税が減っている。町税の減収に対する町の対策として新たな事業を行う考えはあるか。東日本大震災で被災した町が経済的に自立しようとしている姿を見せることはとても重要なことではないか。

答 継続的営農を考えた。面的に支援をしていきたい。

問 支援事業者に販売・加工の指導等は。

答 建設費の低コスト化を考えた。ハイブハウスの利用で農業収入を向上させる目的で検討している。

問 野菜のハウス栽培を奨励してはどうか。

答 町長 遊休農地の活用は、復興交付金事業に被災地農業支援事業制度があり国に申請中である。

問 近年、野菜づくりをする人が増えている。町内には遊休農地が相当数あるがその有効活用を考えは。



すずき かつみ 議員

農業栽培ハウスの設置を

町長 事業交付金を国に申請中



寒さしらずの野菜栽培

安心して入港できる港に

問 吉田・花洲港の水深を下げ100トン級の漁船が入港可能になれば漁獲高も上がると思う。加工・生産・販売となれば雇用にもつながるが。

答 港湾内は津波による堆積物除去などとともに、水深を下げることは県港湾課と検討。防潮堤および6次産業化の事業を進める方向でいる。100トン級の入港は地元漁協から要望があれば検討するが今のところない。

問 入港可能になればおのずと大型漁船を求めると思うが。

答 県では漁港ではなく船溜りと考えている。100トン級の船の出入りは3種漁港になる。

問 現在、地元漁船の入出港では船底をこする状態。吉田・花洲港は船舶の避難港でもあり、いつでも対応できる状態が必要と考えるが。

答 震災復旧が最優先である。

阿川沼の環境整備は

問 これまでの阿川沼を一変させた整備を考え、遊歩道を設置して散歩やジョギングコース、休み場を設けるなど健康増進にもつながるコミュニケーションの場とした施設の考えは。

答 阿川沼は農業用水に活用。平成25年の営農が可能になるようがれきと塩の除去作業を行っている。周辺の環境整備としては復旧復興の早期実現が課題とされている。

新教育長の基本方針は

教育長 新年度に改めて示したい

問 新教育長の基本方針は何か。

と土曜日の学習は成立しない。

答 教育長 年度途中の就任であること、教育の現状を把握する時間が欲しいことから、当面は今年度の方針で取り組むことが現実的ではないかと思っている。したがって基本方針は、新年度に改めて示したい。

問 ボランティアスタッフの問題だが、酒々井町は元教師や元校長が中心である。この考えを取り入れたらどうか。

答 学生を中心をお願いしたい。



ネーミングライツに期待

期が少し早いのではないかと感じている。また、国際村は平成21年度に県内大手企業2社に対し非公式に話をしたが、実現に至らず断念した。

問 庁舎と町内施設の看板広告や壁面広告を検討する考えはあるか。

答 広告付き封筒等に続き今後検討していきたい。

問 ぐるりんこの側面広告や車内放送広告を検討する考えはあるか。

ひとロメモ

ネーミングライツ

スポーツ施設や文化施設に企業名をつける権利で、施設の所有者は命名権を企業に譲渡することで企業から資金を得る。

ひとロメモ

千葉県酒々井町



千葉県の北部に位置し、七ヶ浜町と同規模の町で教育事業の先進地。「教育はまちづくりの基本」という方針のもとさまざまな事業を行っている。



えんどう よしじ 議員

がれき金属換金、着服の対応は

町長 警察に調査を委ねたい

問 平成24年11月15日の新聞報道をどう思うか。

答 町長 町民と関係者の皆さんに、信頼を著しく損なうことになり深くお詫びしたい。

問 聞き取りでは慰労会と称してパーベキューをしたが、構内でも良いか担当課に確認しているかどのようになっているのか。

答 環境生活課長 私の耳には入っていない。数量、金額ともに少なすぎると思われるが町はどのように捉えているか。

がれき金属換金、着服 町委託業者の作業員4人

七ヶ浜町の震災がれき「員4人が重機で鉄くずな処理を担当していた作業員4人が、鉄くずや銅線などの金属を換金して着服していたことが発覚し、処理を委託された建設安全協力が14日、概要を町に報告した。換金された金属類は9・5トン、21万8500円相当とみられている。協力は町内の建設業者らで構成。報告によると、昨年12月からことし1月にかけて、協力は同町花刈浜大日堂のれき置き場は4万2000平方メートル、これまで20万トンが搬入された。協力は連日15人体制でがれき処理をしている。

事件を知らせる河北新報の記事



楽しく元気に遊ぶ子どもたち

子育て世代に経済的支援を



うたがわ わたる 議員

町長 小学6年生まで子ども医療費助成の拡大を拡大したい

問 塩釜市・多賀城市では医療費の一部負担助成拡大を予定している。本町で中学3年生まで実施する考えはないか。

答 現在、町単独事業も含め就学前まで助成している。来年4月から通院・入院とも小学6年生まで拡大したい。

町長 国の動向を見極める

問 「水痘・おたふくかぜ」予防接種の費用助成自治体が増えている。ウイルスに感染し重症になれば、髄膜炎や脳炎など引き起こす病気である。子育て世代の経済的負担の軽減と医療費抑制にもつながることから、実施の考えはないか。

答 国では予防接種法の見直しを行い、水痘・おたふくかぜも対象とする方向で進んでいると聞いている。国の動向を見極め検討していきたい。

防災集団移転は住民主導で

笹山地区に商業エリアを

町長 現段階では設けない

問 商業エリアを広場周辺に検討しているが、近隣住民も集客できるように駐車場の確保を図るべきではないか。

答 現段階では商業エリアは設けていない。消費者の買い物動向をみると大型スーパー、コンビニの利用が多く、団地内の出店は採算的に厳しいのではないかと。移転事業で、公営施設整備もあり出店者がいれば国に働きかけていきたい。

西原地区の集団移転事業は

町長 説明の機会を設ける

問 他の地区と異なり、居住区内に造成されることから、既存住民との共有によるまちづくりを図る必要があるのではないか。

答 平成24年1月復興まちづくりに関する意見交換会で、計画への意見をもらっている。造成等整備熟度が高くなった時点で、説明の機会を設けていく。

松ヶ浜地区の公民館の建設は

町長 再生基本プランの策定中

問 住民の意見・合意を進めていくべきではないか。

答 地区住民によるワークショップを2回開催し、住民による同分館再生基本プランの策定を進めている。



被災者住宅建設予定地 (西原)



すみ やすし 議員
角 靖志

花洲浜ハーバースクエアの集客は

町長 七ヶ浜ならではの活気ある施設で

問 「ばんや」は震災前が年間約57万6000人の来客数で、売上金額が約8億3000万円

答 町長 それらの先進地を参考にしながら七ヶ浜ならではの、活気ある6次産業化施設にしていく。

問 6次産業化先進地である千葉県富津市の「ザ・フィッシュ」はモンドセレクション最高賞のバウムクーヘンや、観光地である鋸山の石に絡めて集客している。同じく千葉県銚子市の「ばんや」は新鮮な食材による食堂が大人気である。そこで、本町の6次産業化である花洲浜ハーバースクエアまづくり事業では何を集客の中心にする予定なのか。

答 インターネットサイト上の食べログなども「ばんや」が普及した理由のようだ。本事業でも外食施設を建設するようなので、事業がスタートすれば、そのうち食べログなどに意見や感想が掲載されると思われる。厳しい感想や点数が低い場合は集客へマイナスの影響を与える可能性もある。このようなことも想定して計画を進めているのか。

問 震災後が年間約53万人の来客数で、売上金額が約7億5000万円である。本町の事業の想定では、年間35万人程度の集客、3〜4億円程度の売上となっている。想定集客数が多いように感じるが、どのように試算したのか。

答 ハーバースクエアまづくり計画は、どのような可能性があるのかを調査している。

問 「ザ・フィッシュ」や「ばんや」、その他の6次産業化の施設へ行った人の意見や感想は本事業の参考になると考える。行ったことのある人に聞いたり、雑誌やインターネットなどで調べてみて、なるべく多くの意見や感想を得たほうが良いと思うが、そういう考えはあるのか。

答 新しい事業を実施するにあたり、成果を上げるよう計画立案し、目標を達成することを大前提として実施していきたい。実施後には厳しい意見や不評なども寄せられることも多々あるのかもしれない。この厳しい意見を真摯に受け止め、改善し、その改善の方法や方策を運営する組織の中で検討していかなければならないと考えている。

問 町の観光キャラクターをマスコット人形とし、ゆるキャラで町のPRを行う考えは。



「ザ・フィッシュ」(右)



6次産業化先進地の「ばんや」(左)

答 それらについても視察をし、学ぶべきことや反省を事業に反映すべきではないかと考えている。



ちば しめいえ 議員
千葉 志美枝

仙台・宮城DCと観光振興策は

町長 七の市商店街のバス旅でPR

問 仙台・宮城ディスプレイネーションキャンペーン(DC)が平成25年4月から6月まで開催される。20年に次いで2回目の取り組みであるが、前回はどのような内容で行い、経済効果はどうか。

答 町長 ポツケと収穫祭、七ヶ浜冒険ツアー、塩釜多賀城駅長おすめ小さな旅の3点を実施し、マコガレイの放流体験等高い評価を得た。市町村ごとの経済効果の分析結果は出されていない。

問 七の市商店街を回るコースで実施する。現在、DCに向けガイドブック等を活用しPR、誘客活動を行っている。

問 「友好の町」として協定を結んだ朝日町とは、観光面ではどのような交流を図っていくのか。



ゆるキャラでまちおこし (グランプリ大会)

問 観光協会加盟店の人たちにパンフレット等を活用し、来町者にDCにむけた積極的な宣伝をお願いしてリピーターの増加策を検討していく。

答 朝日町観光協会からポツケと収穫祭や多賀城・七ヶ浜大感謝祭等の様々なイベントへ参加してもらっている。今後は本町からも朝日町のイベントへ積極的に参加し、お互いの町の特産品や観光地等を町民に知ってもらう機会をつくり、相互の交流を図っていく。

問 町の観光キャラクターをマスコット人形とし、ゆるキャラで町のPRを行う考えは。

答 ゆるキャラがブームとなっており、グランプリなども開催され注目を集めている。本町の観光キャラクターに「ポツケのポーちゃん」や「のりのり君」があるが、ぬいぐるみの作成には至っていない。今後、町の観光PRの点からこれらの商品などを商工関係者と検討していきたい。

問 25年DCに向けた企画や計画内容は。

答 県内では期間中に、伊達なバス旅を計画している。本町では塩釜市と合同で被災地見学と

問 産業課内に観光協会の事務局が置かれ、独立した団体としての活動が見えにくいと思うが。

答 今後は観光協会が独立して建物を持ってないか個人的には考えるが、なかなか現段階では難しい。

ひとロメ
DC
J Rグループと自治体、地元の観光事業者などが協働で実施する大型観光キャンペーン。



和光幼稚園のあゆみ

昭和30年4月 私設和光保育園設立
 昭和39年2月 宗教法人和光幼稚園として認可
 昭和55年1月 学校法人和光幼稚園として認可
 平成7年11月 園舎全面改築

教育目標

和合精進・・約束を守りみんな仲良く集団生活を楽しむ
 生命尊重・・生き物を大切にしよう
 報恩感謝・・社会や自然の恵みに感謝しよう
三つの仏教精神を柱とし情操教育を行います。



グラウンドにて家族とのふれあい



ひまわりの土手にて



体と呼吸と心を整えて

幼稚園から
 震災にて町内では当園だけ津波により園舎の被害を受けました。園庭にあった大型遊具2基も塩害により除去を余儀なくされましたが町に相談しても撤去はもちろん撤去した遊具も処理してもらえず残念でした。同じ町内の子どもたちを育成する場なのに私立とはいえもう少しのご支援を期待したいところです。

保護者の声
 小学校卒業までの医療費無料制度、小学校入学時に体操着や学用品のプレゼント等子育てしやすい優しい町になって欲しいです。！！（実施している市町村があります）



あの質問のゆくえ

定例会での質問がその後どうなったのか。
 今回は子育て支援、温暖化防止に関する質問を取り上げました。

中3卒業まで医療費無料の拡大を

大和町、大郷町が通院・入院とも中3卒業まで医療費助成の拡大を実施する。本町でも対象拡大の考えはないか。
 〈平成24年6月定例会〉



環境大賞に温暖化防止部門を

「しちがはま環境大賞」を設け活動を行った個人や団体の功績をたたえ表彰しているが深刻さを増している「温暖化防止部門」を創設する考えはないか。
 〈平成20年9月定例会〉

答弁

答弁

町長：近隣市町の対応を調査したい

児童の受診状況の把握と近隣市町の対応を調査していきたい。



町長：実現に向け検討していく

温暖化防止の表彰基準はなかったが美化推進委員会と協議し実現に向け検討していく。

そして

そして

助成対象が12歳（小学6年生）まで拡大します。
 合わせて乳幼児医療費の名称を子ども医療費に変更します。

〈平成25年4月1日から実施〉

※詳細は特集記事（P2～3）に掲載

- 環境美化部門（美化運動や清掃活動など）
 - 環境保全部門（地球温暖化防止活動など）
 - 作品部門（作文、絵、標語など）
- の3部門ができました。
 〈平成23年3月1日から〉

平成24年応募作品より

標語
マイバック、オシャレしながらお買物

町民の声

まえだ のぶお
前田 展男さん
(吉田浜前田屋店主)



明日への復活に向けて

菖蒲田海水浴場の防潮堤も県からの事業説明が終り、いよいよ本格的にインフラの整備が進む感じがしてきました。私は被災後、町の活性化に役立つのではないかと有料駐車場の開設と避難路の整備を自主努力で実施してきました。復興には経済活動の活性化が必要であり、そのきっかけは町に期待するところです。

残念ながら私はこの町内ではそのような機会は見出せなかったため現在、一部の七ヶ浜町の商店主と大代地区の商店街の方と、復興の経済活動を協同で実施しており、そのテーマは大代七ヶ浜の浜街道を創り商売の枠組みを創っていきたく活動しています。もしこの枠組みに賛同し商売を考えている方はぜひ仲間に入っていただき、未来の花梨・菖蒲田・大代の商圈を創り合いませんか。これからもさまざまな面で魅力ある七ヶ浜町や大代に永く生活し住み続けられるようにみんなの輪を作っていきますので見かけましたら気軽に声をかけてください。当面ボランティアの一環で海浜清掃と風邪対策用マスクを配布して回りますのでよろしくお願いします。

町民の皆さんからお寄せいただいたご意見、ご要望などを紹介いたします。どしどしお寄せ下さい。お待ちしております。

松ヶ浜幼稚園おゆうぎ会の表紙に寄せて

加藤園長先生の心配事

子どもたちの行く末を案じる先生と昼食をとり、ゆっくり話をすることができました。いつも短い練習の中で、日々成長する子どもたちの姿には毎回驚かされ、感動し笑みがこぼれ力を貰うそうです。

しかし、話題はやはり復興のことでした。松の川付近の復興イメージを気にしているようで、虫食い状態に用地を買いその後どのように進めるのか、どのように残すのか、どのような開発をするのか気にされていました。

まだ先が見えない復興の形を丁寧に説明し、住民とともに話し合いながら進めていかなければいけないと感じました。



議会を監視するのはみなさんです。

一次の定例会は3月6日開会予定です

面倒な手続はございません。どなたでも気軽に傍聴することができます。ぜひお越しください
詳しくは議会事務局まで TEL 357-7435
または、町ホームページ「町民便利帳」をご覧ください。 <http://www.shichigahama.com>

発行責任者	議長	議員	委員	副委員長	委員	特別委員会
佐藤 梶信	渡邊 淳	遠藤 喜二	角 靖志	千葉志美	糸久 博	岡崎 正憲

卒園以来50年ぶり。初めての表紙担当で子供たちの動きが速く目がついていらない。カメラに収めるイメージがわかない。慣れないことはできない。なと反省しながらシャッターを押す。

デジカメは撮ってすぐ見られるから便利だが、できれば悪いと次のシャッターチャンスまで焦るばかり。やはりうまくいかずご父兄にお願いし手間と迷惑をおかけする羽目になりました。

撮影の機会を増やし慣れるように努力します。

渡邊 淳

編集後記

